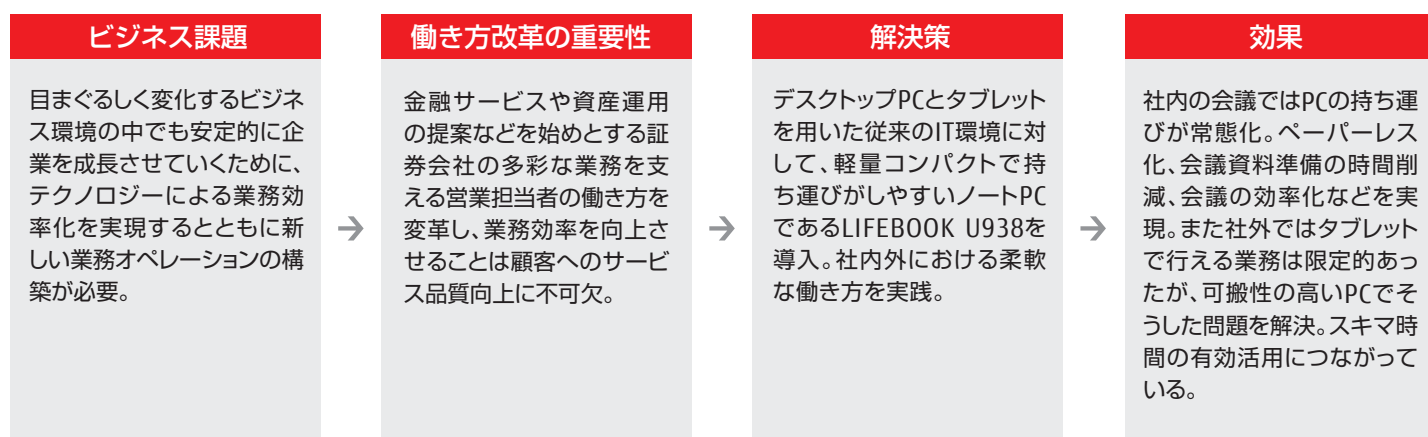


野村証券株式会社

## 営業担当者の業務の柔軟性を向上 軽量・薄型 PC の活用で作業場所の制約を解放

### 導入ソリューション FUJITSU Notebook LIFEBOOK U938

国内証券大手の野村ホールディングスの中核企業として、顧客の資産運用・管理を支える野村証券株式会社。全国130の拠点とインターネットを通じて株式・債券・投資信託など幅広い商品・サービスを提供しています。同社では、働き方改革や事業継続計画（BCP）対策などを背景に、より効率的な業務環境を整備すべく、社内のデスクトップPCの大半を軽量薄型PCであるLIFEBOOK U938へリプレースしました。場所や時間にとらわれない柔軟な働き方への改革を進めています。



### ビジネス機会を創出する柔軟な働き方が課題

「アジアに立脚したグローバル金融サービスグループ」として、世界30カ国・地域を超えるグローバルネットワークを持つ野村ホールディングス。その中核企業である野村証券株式会社（以下、野村証券）は、業界のリーディングカンパニーとして、国内外の個人や法人の顧客に付加価値の高い商品・サービスを提供しています。

国内における少子高齢化やFintechなどデジタル化の進展、新型コロナウイルス、グローバルな規制強化をはじめ、金融業界を取り巻く環境は著しいスピードで変化しています。社会の動きに対応しながら持続的な成長を実現するために、同社においても働き方改革が課題となっていました。

また限られた人材で高い品質を確保する必要がある中、特に証券外交業務では営業担当者が顧客に充てられる時間をいかに確保できるかが重要となります。そこで、より効率的な働き方を実現するためにも、各従業員が日々使うツールとしてPC環境の整備は極めて重要でした。

### 営業担当が持ち運び前提でコンパクトかつ軽量な点を重視

同社では、これまでほとんどすべての社員が社内でデスクトップPCを利用し、外出の多い営業担当者は社外でタブレットを利用していました。しかし、働き方改革やBCP対策などを契機として「時間や場所にとらわれない柔軟で生

産性の高いワークスタイル」が求められる中、PCの更改のタイミングで軽量薄型ノートPCへのリプレースを検討しました。

「13型、15型、17型で検討を始めましたが、持ち運びやすさを考えた際に13型がふさわしいだろうと、数社のメーカー様から提案をいただきました。社内外で業務をスムーズに進められるスペックを必須条件としまして、軽さとサイズと価格を比較しながら選定を進めていきました」と野村証券 ITインフラサービス部 オフィス基盤課 ヴァイス・プレジデントの伊藤素嗣氏は話します。

ITインフラサービス部による提案のもと、営業企画部と進められた今回のノートPC導入は、最終的に4社の13型ノートPCを集めて最終選考が行われました。

「業務部門の意見を聞くために、営業企画部等関連部社員にも意見を聞いたり実際にノートPCを手にとってもらったりして選考を行いました。その結



野村証券株式会社  
ITインフラサービス部  
オフィス基盤課  
ヴァイス・プレジデント  
伊藤 素嗣 氏

果、「軽量で持ち運びやすいのが良い」という声が多く上がり「LIFEBOOK U938(以下、U938)」の導入が決定しました。コスト面ではもっと安価なPCもありましたが、実際に持ち歩く機会の多い営業担当の視点では何よりもコンパクトで軽量なことが重視されたのです(伊藤氏)

軽量で持ち歩きやすいというメリットだけではありません。同じくITインフラサービス部 オフィス基盤課 アソシエイトの堀越雄太氏は「ノートPCはコンパクトである分、キーボードも小さくて打ちにくいイメージがありました。U938はキーピッチが広く打ちやすい点も好評価でした」と語ります。



野村証券株式会社  
ITインフラサービス部  
オフィス基盤課  
シニア・アソシエイト  
堀越 雄太氏

## 会議の効率化やペーパーレス化で顕著な効果

社内においても、軽量・コンパクトなノートPCを持ち運ぶことで、デスクトップPCを利用していた時期に比べて、ペーパーレス化、会議資料準備の時間削減、会議の効率化などにつながっています。

「会議にノートPCを持ち込むスタイルが常態化したことでペーパーレス化が進み、コスト面でも大きな成果が出てきています」と伊藤氏は話します。「数十枚の資料をプリントしてまとめるという作業時間もなくなりましたし、プリンターが止まって会議に資料が間に合わないといったケースもなくなりました。会議の直前まで作業ができるようになるとともに、会議中にも資料を修正してすぐに共有できたり、議事録を入力して会議後にすぐに共有できたりすることで業務が効率化されています」と宮本氏は続けます。

一方、デスクトップPCと比較して画面が小さくなるといった懸念に対して、「自席では今までと同じ感覚で作業できる環境」をコンセプトに富士通製のポータリプリケーターを採用し、自席では大型モニターにつないで作業ができる環境を構築しました。合わせて外付けキーボード、マウスを接続できるようにすることでデスクトップPCからノートPCへのスムーズな移行につながりました。

## スキマ時間の活用で 営業担当者の業務の中断を低減

野村証券では、社外での業務の効率化のためにタブレットを導入し活用してきました。しかし、タッチパネルの画面を活用した商談などはしやすいものの、キーボード入力ができないため、営業所に戻ってからPC入力作業をする営業担当の社員も多くいました。

「キーボードがないタブレットでは、長文のメールを打ったり、報告書をまとめたりする作業が難しいという課題がありました。U938導入後は『ノートPCなら外出先でも入力作業がしやすいから便利になった』という話をよく聞いています(伊藤氏)

外出先で報告書の作成やメールなどが気軽にできるようになった点は、営業部門の社員にとって働き方改革につながっています。また、社外からも



野村証券株式会社  
ITインフラサービス部  
オフィス基盤課長  
エグゼクティブ・ディレクター  
宮本 征和氏

サーバーにアクセスできるようになったことで、見たい時に必要な情報を得ることができ、お客様にもタイムリーな情報提供ができるようになったことも営業のアドバンテージとなっています。

「ノートPCを持ち運ぶようになったことで、予定と予定の間のスキマ時間にも仕事がスムーズにできるため、業務の中断が少なくなった点は大きいと感じています」とITインフラサービス部 オフィス基盤課長 エグゼクティブ・ディレクター 宮本征和氏は導入の効果の話します。また、機密性の高い情報を扱う同社では、VDI(仮想デスクトップ環境)を構築することで社外でも安心・安全にPCを活用できる環境を実現しています。

## 人とデジタルを融合させることで 接点価値向上に取り組んでいく

デスクトップPCから気軽に持ち運べる軽量薄型ノートPCへリプレースしたことで、社内外での働き方改革が広がっている同社。伊藤氏は「どこでも気軽にPCを開いて作業ができる環境を実現することができました。今後は在宅勤務やテレワークなどでも社内外の人とスムーズにやり取りができるよう、インフラ環境やネットワークの整備を強化していきたいと思っております」

また、顧客のニーズに寄り添う対面営業を強みに成長してきた同社では、インターネット活用による証券業界におけるビジネス環境の変化、感染症によるパンデミックなどの影響を受け、より多様なアプローチ方法や柔軟なワークスタイルが求められています。

「これからはお客様の行動変化や新たなニーズに機敏に対応できるよう、アプローチ方法を多様化していくことがますます重要になっていくと感じています。そのためにも、U938を活用しながら、必要なデータにストレスなくアクセスできる環境を提供することでお客様との接点価値向上を進めていきたいと考えています(宮本氏)



## お問い合わせ先

【購入相談窓口】 0120-959-242 受付時間 9時～18時(土・日・祝日・年末年始を除く)

## 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区新橋1-5-2 汐留シティーセンター

富士通製品情報ページ

<https://www.fmworld.net/biz/fmv/>

●記載されている会社名、製品名は一般的に各社の商標または登録商標です。